



# にかほ 議会だより

11.15 2022  
vol.73



## — 日本海沿岸東北自動車道 山形・秋田県境区間建設促進大会 —

9月24日 にかほ市内

日沿道県境区間は、令和8年度内の開通を目指し工事が進められています。

議員も建設促進の意志をあらわすため、促進大会に参加しています。また、遊佐町議会との議員協議会でも独自に国への要望活動を実施しています。

## 9月定例会・10月臨時会

### 定例会・臨時会概要

審議概要と議会の視点…… 2～6

議案・賛否一覧…… 7

一般質問…… 8～11

編集後記ほか…… 12





タブレットを活用した本会議

# 令和3年度 決算の審議

(単位：億円)

会計名	歳入	歳出	収支
一般	178.6	172.2	6.4
国保事業 事業勘定	28.9	28.5	0.3
国保事業 施設勘定	1.4	1.2	0.1
後期高齢者医療	3.4	3.4	0.0
公共下水道事業	11.9	11.6	0.3
農業集落排水事業	4.4	4.4	0.0
合計	228.6	221.3	7.1

※単位未満：小数点一桁未満切り捨てのため、決算額と一致しません。

令和3年度健全化判断比率		早期健全化基準
①実質赤字比率	-%	13.45%
②連結実質赤字比率	-%	18.45%
③実質公債費比率	8.2%	25.00%
④将来負担比率	52.2%	350.00%

### 《健全化判断比率》

- ①実質赤字比率…財政規模に対する一般会計等の実質赤字額の割合
- ②連結実質赤字比率…財政規模に対する全会計の実質赤字額等の割合
- ③実質公債費比率…財政規模に対する借金返済額等の割合
- ④将来負担比率…財政規模に対する将来負担すべき実質的な負債（市債など）の割合

## 令和3年度決算関連

報告第7号健全化判断比率及び資金不足比率（市財政の健全性について）

健全化判断比率は、全会計で「赤字はなく」実質公債費比率、将来負担比率ともに「財政的に

健全とされる範囲」で、数値は更に改善傾向にある。

しかし、中長期的には人口減少による税収減が見込まれ、厳しい財政運営が予想される。歳入の確保と歳出抑制の取り組み、効率かつ効果的な行財政運営を行ったうえで、健全財政の維持・強化が必要とされる。

## 9月定例会 (令和4年第5回)

市議会は9月定例会（8月31日～9月22日）、10月臨時会（10月25日）が招集・開催されました。9月定例会は、令和3年度各会計の決算認定7件、令和4年度各会計補正予算8件、条例改正4件、人権擁護委員の推薦1件などを含む議案22件、陳情2件、議提3件が上程され、全て承認、可決、採択としています。10月臨時会は、一般会計補正予算1件が上程され、可決されました。

## 10月臨時会 (令和4年第6回)

住民税均等割非課税世帯などへの生活総合対策となる支援給付金事業とマイナンバーカード取得申請サポート事業にかかる補正予算が提案されました。マイナンバーカードの取得率を上げるためには、市民の事業への理解と協力が必要とされます。

## 注目事業の審議・審査

### ◎旧上郷小学校活用事業 3,014万円

概要 旧上郷小学校の利活用をプロデュースする事業者への委託料。

### Q 事業の内容や詳細は。

A ワークショップなどの企画運営、事業PRイベント、リレイド形式のラジオ配信、各種メディアとの連携などをトータルプロデュースする委託。ABSラジオでの配信、サイン、SNSの製作運営、動画作成、建築設計事務所への設計業務委託などを含む。

### ◎認知症高齢者等SOSネット トワーク事業 14万円

概要 徘徊の心配のある高齢者などの早期発見のため、QRコードを利用した情報発信システム導入にかかる委託料など。

### 議会の視点

令和3年度が初年度となる新規事業。市民の安心・安全のために非常に有効な事業だが、利用者数が3名とまだ認知度が低い。利用登録を増やすためには、対象者（その家族）と市民への事業の周知が求められる。

### 議会の視点

令和4年度を最終年度としハード・ソフト事業を進めているが、完成後の地元住民との関わり方や運用計画などはまだ示されていない。地域住民の協力を得て運営していくスタイルが構築され、令和5年度からのスムーズな運営開始ができることを期待する。





### 令和3年度 決算の審議

#### ◎災害時避難行動要支援者名簿システム保守業務 27万円

**概要** 災害時の避難に支援を要する方の名簿作成にかかる委託料。

**Q** 要支援者の避難時のサポート体制は。

**A** 年1回の名簿更新時に各地域の自治会長、民生児童委員の方に名簿を提供し、要支援者の把握を依頼している。災害が起こった際、その名簿を活用し地域で支援していただきたい。



タブレット授業視察（院内小学校）

**Q** 授業でのタブレットの活用程度は。

**A** ほぼ毎時間活用している。低学年も学習支援ソフトを使い学習している。

#### 議会の視点

名簿の提供を受けた自治会長・民生児童委員が、実際に名簿を活用した避難支援ができるかどうかの確認も必要とされる。

#### 議会の視点

本市でも文科省が提唱するGIGAスクール構想の本格的運用が始まった。

**◎GIGAスクール構想の本格運用 820万円**  
**概要** 小中学校のネットワーク通信環境の強化とタブレットのフィルタリング設定に係る業務委託料。

「にかほ市GIGAスクール構想推進モデル校」である院内小学校を中心に、各校でもICT運用の中核的な役割を担う教員「ICTマイスター」を任命し、取り組み例の蓄積などを行っている。児童の習熟度による個人差も考慮しながら、機器をいかに活用していけるかが今後の課題となる。

### 令和4年度 補正予算の審議

#### 議会の視点

ICTを利用したテレワークは、多様な働き方の実現や非常時の業務継続（BCP）等に効果があるとされている。導入には環境の整備と並行してテレワークのルールの策定と周知のための取り組みが必要となる。

#### ◎テレワーク本格稼働へテレワーク等環境整備事業 650万円

**概要** 市役所のテレワーク環境整備をするための事務用ノートパソコンなどの購入費用。

**Q** 事業の具体的な内容は。

**A** 相談業務や窓口業務、現場業務など、テレワークに馴染まない業務もあるため、限られた業種に限定してテレワークを導入している。市役所全体で約一割と想定して30台を導入する。

#### ◎アウトドア拠点施設建設事業 8億1,013万円

**概要** 道の駅象潟「ねむの丘」に隣接するアウトドア拠点施設建設にかかる工事費。

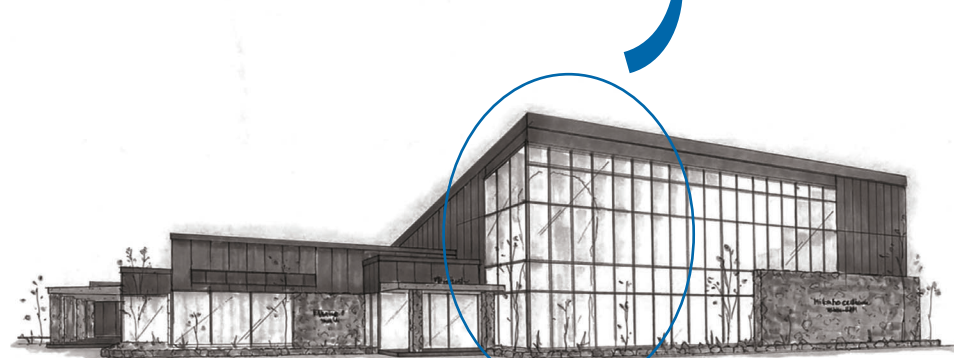
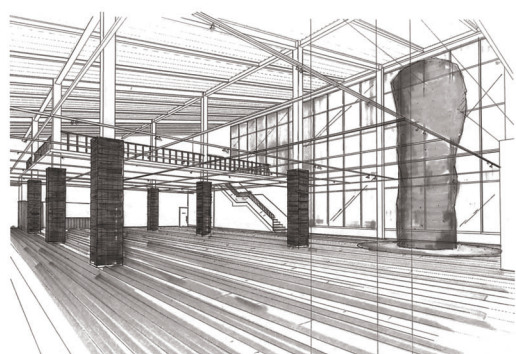
**Q** 費用の根拠は。

**A** 建物（延べ面積約1,800平方メートル）全体の実施設計、詳細設計の積算額になる。

**Q** 設計はどこで行ったのか。

**A** 株メンバーの設計を担当する関連会社を実施した。

内部予定図



【外観】国道7号側

#### 議会の視点

アウトドア拠点施設の建設がいよいよ本格化する。本市の観光拠点としてだけでなく地域住民や市内の商店街などと連携し、新たな交流の場としての役割にも大いに期待したい。

#### ◎一次産業支援事業

##### ①農業支援金 5,698万円

##### ②漁業（一般）支援金 1,401万円

##### ③漁業（燃油）支援金 330万円

**概要** コロナ禍による農水産物の価格下落と原油・物価高騰の影響を受ける一次産業事業者への支援金。

**Q** ②③の対象者は船主だが、夏季の休漁期間のみ独自で漁を行っている乗組員は事業対象になるのか。

**A** 基準額（漁業収入50万円）を超える場合は該当する。

#### 議会の視点

市による漁業者への支援が決定した。本事業の開始により、市内のほとんどの職種が何らかの支援を受けることができたのではないだろうか。市民生活を支える基盤である一次産業を支えるためには、資金面の支援だけでなく、各産業振興対策を継続していくことが必須となる。

### 新型コロナウイルス感染症緊急対策地方創生臨時交付金対応事業（抜粋） 総額2億6,327万円

国・県の補助事業とともに、この交付金を利用した市独自のコロナ対策事業が実施されています。

**飲食応援消費還元事業**  
（おうちでレストラン・おでかけレストラン）  
7,218万円

◎参加店舗117店舗  
◎還元商品券  
総額6,187万5,000円



**各施設抗菌・抗ウイルスガラスコーティング施工事業**  
1,244万円

**感染症予防対策強化事業**  
（除菌水・噴霧用電動スプレー配布事業）  
659万円



**大学生等生活支援事業**  
2,244万円

**コンベンション施設支援金**  
1,632万円

**飲食業等関連事業者支援金**  
70万円

**タクシー事業者等支援金**  
180万円

#### 議会の視点

現在、コロナ感染の第7波は収まりつつあり、国の規制も緩和に向かっているものの、コロナ禍以前の賑わいを取り戻すまでには、時間を要する。市民や民間事業者自らのアイデア、働きかけにも期待したい。



補正予算の審議・陳情

◎将来の学校環境を検討  
学校環境適正化検討委員会  
関連 130万円

概要 市全域の小中学校の在り方を検討する検討委員会設置にかかる委員の会議出席謝礼や講師旅費など。

Q 検討委員会の設置目的は。

A 人口減少を見据え、旧町の範囲を超えた統合を含め、将来の学校の在り方を検討する。

Q 今後のスケジュールは。

A 今年度中に提言書を市へ提出する。また、来年度に5年または10年をめぐとする基本計画を策定する予定。

議会の視点

数年前の旧町単位での小学校の統廃合の際には、統合ありきのような当局の進め方を問題視する市民の声も聞こえた。時間のない中ではあるが、将来にかほ市を担う子どもたちにとどのような教育環境を与えてあげられるのか、委員の積極的な議論と、丁寧な市民への説明が今回も求められる。

●取得しやすい育児休業を  
～関連条例改正～

概要 国の育児休業制度の改正による市職員の育児休業の取得回数制限、非常勤職員などの取得要件の緩和など。

Q 今後、市職員の育児休業（部分休業を含む）の取得促進をどのように進めるのか。

A 男性でも積極的に育児休業を取得しやすいよう、職場での声かけや制度改正も考えたい。

Q 育児休業を申請した職員がいる場合、人員の補充などの対応は。

A 職員一人当たりの業務分担の増加により、補充する余裕がない状況。基本的には業務分担の見直しで対応しているが、会計年度任用職員や再任用職員の配置などを考えている。

議会の視点

育児休業の取得対象となる職員が、計画的に取得できる環境の整備と職場の風土づくりが求められる。

●議提第10号 採択  
地方財政の充実・強化を求める意見書（陳情第7号）

審査概要 地方公共団体に求められる役割が増加している。行政需要に対応可能な地方財政の充実を継続して求める必要性から、採択と決した。

●議提第11号 採択  
シルバー人材センターに対する支援を求める意見書（陳情第8号）

審査概要 消費税制改正によりインボイス制度が導入される。シルバー人材センター運営の大きな負担となり、経営支援対策を講じる必要性があることから、採択と決した。

10月臨時会

◎商業施設でのカード申請を可能にする申請サポート事業  
1,635万円

概要 マイナンバーカードの取得申請をオンラインで可能にする端末を設置し、市民の手続きを支援するための業務委託料など。

Q カードの取得率を国の地方交付税の交付額に反映するとの報道があるが、市の対応は。

A 現段階で国から提示されたものはないが、対応を考えていく必要がある。

議会の視点

カードの取得率を上げるためには、市民のマイナンバーの利便性の周知と制度への理解が必須条件となる。利用しやすい窓口の設置が必要であり、成果につながるものと期待する。

◎電力・ガス・食料品等価格  
高騰緊急支援給付金事業  
1億2,771万円

概要 物価・賃金・生活総合対策として住民税均等割非課税世帯などへ一世帯5万円を給付する事業。給付金と給付に掛かる事務費など。

議会の視点

9月定例会で可決した住民税非課税世帯物価高騰対策給付金事業と合わせ、対象世帯に6万5千円が給付される。速やかかつ正確な事務執行を望む。

議案・賛否一覧

総務…総務常任委員会、教民…教育民生常任委員会、産建…産業建設常任委員会  
予算決算特別…一般会計予算決算特別委員会  
○は賛成 ●は反対（※議長は表決しない）  
簡易表決とは、可決に「異議がない」ことを会議に諮る簡易な方法のこと。

Table with columns for item number, name, result, council number (1-16), and committee name. Includes sections for 9月定例会 (8月31日~9月22日) and 10月臨時会 (10月25日).



9月定例会では6人が登壇しました。  
※本会議の様子は議会ホームページからオン  
デマンド（録画）でご覧いただけます。



…議員が定例会にて行う行政事務全般についての質問

# 一般質問

ささきとしつぐ 佐々木平嗣 議員	1. 本市の健康寿命推進に対する考え方と方向性について 2. スポーツを取り入れた健康寿命延伸の取組について 3. 全国で一番の健康寿命を考えるまちを目指しませんか	P. 9
さいとう ゆうし 齋藤 雄史 議員	1. 商店街活性化に向けた市の取組方針と対策等について 2. 防災情報の伝達について 3. 児童の安全・安心確保のためのスクールバス運行について	P. 9
ささきとしはる 佐々木敏春 議員	1. HPVワクチン接種の推進について 2. がん検診受診率の現状と対策について 3. 通学路における合同点検の結果について 4. にかほ市漁業の振興について	P. 10
たかはし としえ 高橋 利枝 議員	1. 漁業従事者に対する支援について 2. アウトドアグランドデザインの地元経済波及について 3. にかほ市の男女共同参画社会の現状と行政の役割について 4. コロナ後の地域経済回復支援について	P. 10
さいとう みつはる 齋藤 光春 議員	1. 市営住宅及び共同施設等の今後の在り方について 2. ふるさと納税の活用実績とその効果について	P. 11
ささき はるお 佐々木春男 議員	1. 農業振興について 2. 安倍元首相の国葬に関連して 3. コロナから市民のいのちと暮らしを守るために	P. 11

## 総務大臣感謝状贈呈



永年の議員活動に  
対し、感謝状が  
贈呈されました  
●在職35年以上  
菊地 衛 議員

## 一般質問とは

- ①事前に質問内容・質問方式を記載した通告書を提出します。  
(1)一問一答方式：一項目ずつ質問します。何度でも再質問できます。
  - (2)一括質問方式：一度に全部の内容を質問します。再質問は3回まで。
  - ②制限時間は一人60分です。(質疑応答時間を含む)
- 通告書に記載のない質問は、認められていません。

## 全国で一番の健康寿命を考える街を目指して



ささきとしつぐ  
佐々木平嗣 議員



継続した啓発や周知の必要性を認識している 市長

### 健康寿命延伸に対する考え方と方向性は

**問** 市民の健康寿命の延伸と健康意識を高めるための市長の考えは。

**市長** 健康寿命の延伸はにかほ市の最重要課題の一つで、令和3年5月から「健康プロジェクト連携事業」に取り組んでいる。県内企業とにかほ市の四者で連携協定を結び、各者の得意とする分野から市民の健康づくりにアプローチしていくことが必要と考える。

### 取り組みやすい

**スポーツの推進を**  
**問** 無理なく効果的な運動での健康づくりに、インターネットが有効と聞いている。スポーツ習慣化のために積極的に呼びかけたらどうか。

**市長** 誰もが自分の体に合ったスポーツを個人や仲間と楽しめるよう、市として啓発や呼びかけを行っていききたい。

### テクノロジー（熟大メイトなど）を活用した健康寿命延伸への取り組みは。

**問** テクノロジー（熟大メイトなど）を活用した健康寿命延伸への取り組みは、指導者の養成や二ツを踏まえながら進めていきたい。

**市長** 健康寿命の延伸はにかほ市の最重要課題の一つで、令和3年5月から「健康プロジェクト連携事業」に取り組んでいる。県内企業とにかほ市の四者で連携協定を結び、各者の得意とする分野から市民の健康づくりにアプローチしていくことが必要と考える。

### 全国で一番の健康寿命を考える街にしては

**問** 高齢者が健康で就労できることにより、医療費の削減に寄与することになる。運動による健康寿命日本一を考える街を目指しては。

**市長** 秋田県全体で健康寿命日本一を目指して取り組んでいるため、市単独での公表は考えていない。運動による効果の価値を見出してもらうには、絶えず啓発活動、周知活動をしていく必要があると考えている。



## 商店街活性化に向けた対策は



さいとう ゆうし  
齋藤 雄史 議員



既存の施策にこだわらない支援策を講じたい 市長

### 商店街活性化に向けた今後の取り組み方針は

**問** 商店街を市民に認知してもらうために、「漁師図鑑」のように「商店街図鑑」を作成してはどうか。また、漁師図鑑の反響・効果は。

**市長** 商店街の皆さんから商店街図鑑作成のご提案や協力を求められれば、チャレンジしてみたい。これはいいことだと思う。ご相談をいただければ、作成に対する協力は惜しまない。

### 企画調整部長

あらゆるマスコミ・テレビ番組を含めて取り上げていただき、大きな反響に至っていると考える。宣伝効果としては、大きな影響が現れていると捉えている。

### 地域カード（地域キャッシュレス）の構想、導入の手応えは。

**市長** 地域カードの導入についてはいろいろな効果があり、地元商店の中でお金の循環を実現してくれるため、これに期待するところが大きい。市

はこの地域カードの導入を前向きに検討し、進めていきたいと思っている。ただ、商店街の多くの皆様のご協力なくしては進まないという事をご理解いただきたい。

**防災情報の正確な伝達を**  
**問** 防災無線の補完的な役割であるテレフォンサービス認知度を高める対策は。

**市長** 随時PRに努めていく必要がある。

### 安心・安全のための

**スクールバス運行を**  
**問** 院内小徒歩通学児童の安心・安全のため、スクールバスの柔軟な運用取組の検討を。

**教育次長** 各地域の事情も含め、全学的な視点で検討していきたく考えている。







佐々木 敏春 議員

**問** 本市の漁業振興についてアワビ漁獲量の回復を図るとともに、「漁業における産学官連携」が必要と考えるが。

**市長** 今年度は、放流稚貝のサイズを30ミリから50ミリに変更し、放流後の生存率を上げる試みを行う。

「漁業の産学官連携」については、情報交換を活発化させ、研究課題を具体化して取り組みたい。

**市長** 今年度は、放流稚貝のサイズを30ミリから50ミリに変更し、放流後の生存率を上げる試みを行う。

**問** 全国でがん検診の中止や縮小、受診控えにより受診者が大きく減っている。感染症対策とともに職員の増強が必要では。

**市長** 時間予約による密の回避、医療機関での受診や未受診者への電話による受診勧奨などを強化していく。市職員の業務量の多さと、定員より少ない職員数は、深く憂慮される状態にある。

**市長** 今年度から免疫効果の高い9価ワクチン接種の全額助成を、全国で初めて行っている。接種機会を逃した方々に対しても、キャッチアップ接種として無償で対応している。

**市長** 一部の住宅で手すりを設置。各施設とも、バリアフリー義務化前に低所得者に向けた公営住宅法で設計建築されており、高齢者や障がい者の入居を前提とした施設ではなかった。仮に高齢者や障がい者などの安全に対応した改築を計画する場合、エレベーターの設置、車いす対応の通路やスロープの設置が必要になり、住宅の建て替えを前提とした検討をしなければならぬ。

**市長** ふるさと納税の活用実績とその効果は、平成29年以降の具体的な使い道と活用実績は、

**市長** ふるさと納税は寄付という性質上、毎年確認された歳入ではないため、それを財源とした事業計画はできない。しかし、寄付者の思い、意向を十分に尊重しながら貴重な財源として有効に活用したい。

### 新しい漁業に向けた「漁業の産学官連携」の取り組みを

**市長** 活発な情報交換で研究課題を具体化し、水産業の持続的な発展へ



録画配信

**市長** 計7か所を通学路危険箇所リストアップしている。注意喚起看板ゾーン30（速度制限区間）の設置が検討されるほか、市教育委員会と学校が中心となり、通学安全指導の徹底、地域住民の協力依頼を行っている。

**市長** 計7か所を通学路危険箇所リストアップしている。注意喚起看板ゾーン30（速度制限区間）の設置が検討されるほか、市教育委員会と学校が中心となり、通学安全指導の徹底、地域住民の協力依頼を行っている。

**市長** 今年度から免疫効果の高い9価ワクチン接種の全額助成を、全国で初めて行っている。接種機会を逃した方々に対しても、キャッチアップ接種として無償で対応している。

**市長** 今年度から免疫効果の高い9価ワクチン接種の全額助成を、全国で初めて行っている。接種機会を逃した方々に対しても、キャッチアップ接種として無償で対応している。

### 漁業従事者の高齢化・減少による漁業衰退への対応は

**市長** 水産業の持続的な発展に取り組む



録画配信



高橋 利枝 議員

**問** 漁業従事者の減少が懸念される中、本市では事業承継した若い世代が独自のアイデアやSNSでの情報発信で漁業体験者を募り、新規の就労者につなげている。この活動を昨年度は観光事業として支援していたが、「観光事業としての支援」ではなく「就労までの支援」が必要ではないか。次年度以降の就労までの取り組みに対する、市の支援計画は。

**市長** 本市独自の就労支援は、観光庁の実証事業体験事業を通じた観光コンテンツ創出及び観光漁業連携促進事業として実施している。コロナ禍が長期化している現状では、観光事業としての体験漁業の開催は難しいかと思われる。来年度は、農林水産課の水産業費に予算措置し、就労につなげる体験漁業として検討していきたい。



**市長** 商工業の振興については、にかほ市中小企業振興条例で、中小企業支援団体、金融機関等と連携して取り組むとして、課題分析や意見交換を行い、施策の推進や新たな施策へ反映させている。引き続き経営基盤の強化や改善に結びつく研修機会の充実、事業継承に関する直接的な経営支援も連携し進めていく。

### 市営住宅等の今後の在り方は

**市長** 第2期公営住宅等長寿命化計画を策定中である



録画配信



齋藤 光春 議員

**市長** 「にかほ市公営住宅等長寿命化計画」を策定している。公営住宅へのニーズを把握するため、入居者アンケートを実施し来年度からの第2期計画を策定中。意見交換は特に行っていない。管理人や入居者らの連絡は随時受け付け、要望には、公営住宅法や条例の規定に基づき、対応できるものの中から出来る限り早期に応じている。

**市長** 「にかほ市公営住宅等長寿命化計画」を策定している。公営住宅へのニーズを把握するため、入居者アンケートを実施し来年度からの第2期計画を策定中。意見交換は特に行っていない。管理人や入居者らの連絡は随時受け付け、要望には、公営住宅法や条例の規定に基づき、対応できるものの中から出来る限り早期に応じている。

**市長** 今年度は、放流稚貝のサイズを30ミリから50ミリに変更し、放流後の生存率を上げる試みを行う。

**市長** 今年度は、放流稚貝のサイズを30ミリから50ミリに変更し、放流後の生存率を上げる試みを行う。

**市長** 今年度は、放流稚貝のサイズを30ミリから50ミリに変更し、放流後の生存率を上げる試みを行う。

**市長** 今年度は、放流稚貝のサイズを30ミリから50ミリに変更し、放流後の生存率を上げる試みを行う。

### 国民の食糧の安全を確保できるのか

**市長** 農政以外にも課題が多いため、現状では難しい面がある



録画配信



佐々木 春男 議員

**市長** 農政以外にも課題が多く、現状では難しい面があると感じている。国民全体で食料自給率を意欲し、日常生活の中でできることから取り組んでいくことが、食料安全保障の確立と自給率の改善につながるものと考えている。

**市長** 農政以外にも課題が多く、現状では難しい面があると感じている。国民全体で食料自給率を意欲し、日常生活の中でできることから取り組んでいくことが、食料安全保障の確立と自給率の改善につながるものと考えている。

**市長** 農政以外にも課題が多く、現状では難しい面があると感じている。国民全体で食料自給率を意欲し、日常生活の中でできることから取り組んでいくことが、食料安全保障の確立と自給率の改善につながるものと考えている。



**市長** 多様な形態においても持続可能な農業を目指していただき、農地の集約、複合経営、規模拡大、スマート農業の導入などによって、魅力ある農業に向けて支援をしていきたいと考えている。

**市長** 多様な形態においても持続可能な農業を目指していただき、農地の集約、複合経営、規模拡大、スマート農業の導入などによって、魅力ある農業に向けて支援をしていきたいと考えている。

**市長** 多様な形態においても持続可能な農業を目指していただき、農地の集約、複合経営、規模拡大、スマート農業の導入などによって、魅力ある農業に向けて支援をしていきたいと考えている。

## 議会活動報告

8/3	岡山県議会行政視察（来庁）
8/4	にかほ市・遊佐町議会議員協議会要望活動
8/24	議会全員協議会 議会運営委員会
<b>8/31～9/22</b>	<b>第5回定例会</b>
8/31	正副議長・正副委員長会議
9/1	議会全員協議会 議会改革推進会議
9/2	議会運営委員会 広報広聴委員会
9/22	議会運営委員会 説明会
9/24	日本海沿岸東北自動車道山形・秋田県境 区間建設促進大会…表紙参照
10/5	議会改革推進会議
10/18	議会運営委員会 広報広聴委員会
<b>10/25</b>	<b>第6回臨時会</b>
10/26	にかほ市・遊佐町議会議員協議会広域観光 部会
10/27	期成同盟会要望活動
11/1	松島町議会行政視察（来市）
11/4	期成同盟会要望活動

掲載した他にも、市内外の行事等へ出席しています。

## 12月定例会の予定

11/25（金）	本会議 （市政報告、議案説明ほか）
11/29（火）～30（水）	本会議（一般質問）
12/2（金）	本会議 （議案質疑、議案付託ほか）
12/5（月）～8（木）	常任委員会（予算特別小委）審査
12/9（金）	本会議 （委員長報告、討論、採決ほか）

※日程の変更は、議会HPにてお知らせします。  
※傍聴の際は、マスクの着用や手指消毒にご協力  
ください。なお、感染予防のため、傍聴者数を  
制限する場合があります。

議会事務局 TEL 43-7511



## にかほ市・遊佐町議会議員協議会 広域観光部会研修



酒田市 玉簾の滝

鳥海山・飛鳥ジオパークのジオサイトや関連  
施設の視察と研修を行いました。

## 議会だより、市議会へのご意見、 市民の声をお寄せください。

郵送 〒018-0192  
にかほ市議会事務局 宛て  
メール gikai@city.nikaho.lg.jp  
FAX 0184-43-7513

お手紙、FAX、  
メールで

## 広報広聴委員会

委員長	齋藤 進
副委員長	佐々木 正勝
委員	高橋 利枝 / 齋藤 光春 佐々木 孝二 / 佐々木 春男 森 鉄也 / 伊藤 竹文

## 編集後記

新型コロナウイルス感染拡大を一つのきっかけとして、自治体においてDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進が求められています。にかほ市議会では、電子データの活用によるペーパーレス化に取り組んでおり、「習つよりに慣れる」で、ICTの利便性をじかに感じながら、奮闘しております。昨年9月定例会からタブレットと紙ベースでの並行運用、今年3月定例会から本格運用しています。広報広聴委員会では、議会だよりを通じ、各議員の活動や発言、委員会の審査内容などを分かり易く伝えることと、市民の皆さんに議会を身近に感じていただけるよう、工夫しながら編集作業に努めております。引き続き議会だよりを愛読いただければ幸いです。

議会広報広聴委員会  
副委員長 佐々木 正勝